

あり、このままの状態て突走した場合を考えると是等の問題に対し、近い土浦の将来に大きな不安を感ずるのであります。

偶々土浦の愛郷精神に燃ゆる一部の特志家により「土浦の自然を守る会」が結成され、機関誌「桜川」まで発行して郷土を守るため熱心な運動を続けられている事

知り、私は深く心を打たれ、會員の各位に敬意を表する

と共に、あくまでこの目的を完遂して土浦の自然を守る

ことが真の愛郷精神であり、又美しい土浦を残すことが

次代の人々への大きな義務であることの自覚に徹して運

動を続けられるよう、東京から祈る次第であります。

植 樹 碑

明治四十三年一月行方郡大和村白浜、辺田桑藏氏桜樹二百本ヲ寄贈セラル
仍テ同志相謀リテ之ヲ錢亀橋西桜川堤上道祖神祠ヲ挾ミテ三百余間ニ配置シ
且日露戦勝記念トナス。星霜既ニ二十余年、幹枝滋栄漸ク態ヲ成ス。陽春ノ
天鰲隼トシテ香雲ヲ漲ラシ連エン影ヲヒタシテ花唇ヲ動カス。橋東次第イデ
植桜ノ挙アリ、併セテ今ヤ墨堤ノ花ト其妍ヲ競フニ至ル。況ンヤ桜川ノ古事
ヲ偲フトキ綿々トシテ其情ヲ揺カスモノアルニ於テオヤ、洵ニ亀城第一ノ情
景ト謂フヘシ。記シテ以テ後昆ニ伝フ。

昭和六年四月三日

石岡 手塚 撲堂 撰併書